

令和5年度の伏見区における主な事業

「伏見区基本計画 2025」に掲げる、地域力・福祉力に満ちた持続可能な伏見のまちを目指して、次の4分野に重点的に取り組みます。

あらゆる危機にしなやかに強く対応できる 安心安全なまちづくり

●地域防災支援プロジェクト

地域の防災活動や区民の防災意識の向上に向けた取組を展開

●学区の安心安全ネット継続応援事業

防犯、交通安全、子どもたちの安全対策等
地域主体の安心安全の取組を力強く支援

避難所開設・運営訓練▶



地域ぐるみで子どもの健やかな成長を育み、 誰もが健康に暮らせるまちづくり

●未来を担う「ふしみっ子」はぐくみプロジェクト

伏見区本所管内を5つのエリアに分け、エリアごとの子育て応援マップを作成

●「E-TOKO 深草」子育て応援プロジェクト

子育て支援団体とも連携して「深草で子育てしたくなる」情報を発信。地域の子育て支援資源との出会いやつながりづくりを後押し

●健康長寿のまち・醍醐

～だいたいいきいき応援隊～

商業施設と連携して、区民に身近な場所で健康的な食習慣の普及・定着等を目指す啓発事業を実施



商業施設でのパネル展

伏見の更なる魅力発信やブランディング による地域経済活性化

●伏見地域の経済・観光振興

「みなとオアシス」伏見港、淀川舟運における京都の玄関口など、伏見のもつ様々な魅力を創造・発信し、地域経済を活性化



●深草いいトコ体感プロジェクト

WEBサイト「デジスタイル京都・E-TOKO 深草」で「深草で見る・買う・食べる・体験する」情報の発信と、魅力体感型事業を実施



●伏見連続講座

伏見の魅力を伝える講座などの開催支援に加え、脱炭素先行地域としての機運を高める講座など、区内企業等と連携した特別編も開催



移住・定住促進や次世代の担い手を 育成するまちづくり

●住むまち伏見プロジェクト

民間事業者等との連携により、「住むまち」の視点から伏見の魅力を発信

●ふれあい事業

区民相互のふれあいの場の創出や世代間・分野間の交流を深める持続可能な取組を展開

●だいたい地域活動応援隊

更なる地域コミュニティの活性化、定住人口の増加に向け様々な分野のノウハウやスキルを持った人や団体をまちづくり活動に派遣



伏見区民文化フェスティバル

問合せ 伏見区役所企画担当(☎611-1295)

就任のご挨拶



伏見区長
上田 純子

伏見区は、港町、城下町、門前町など、多様な魅力があふれるまちです。また、市内最大の農業生産地であり、産業集積拠点として企業立地も進む、多彩な産業が息づくまちでもあります。そんな伏見で脈々と受け継がれてきた歴史や文化を基軸に区民の皆様と協働しながら、伏見区ならではの地域力・文化力を活かし、伏見に「住みたい」「住み続けたい」「子育てしたい」「働きたい」「訪れたい」と実感していただけるまちづくりに私も携わらせていただきます。どうぞご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



深草担当区長
北條 昌代

豊かな自然、悠久の歴史や文化、近年は大学のまちとして、素晴らしい風土を有し、大切に受け継がれてきたまち・深草。昨年の推計人口は増加し、住民主体のまちづくりが進むなど、まさに地域の皆様の「地域力」に支えられているまちであります。この魅力あふれる深草のまちづくりに私も携わらせていただけることに、大きな喜びと責任を実感しております。地域内外の多くの方に「住みたい」「住み続けたい」と思ってもらえるよう、地域の皆様とともに「オール深草」で取り組む決意であります。どうかご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



醍醐担当区長
横山 克久

醍醐地域では、今年の2月には利用者数が100万人を超え、地域住民の生活や市民活動を支え続ける醍醐コミュニティバスの運行をはじめ、地域の絆を深める「醍醐ふれあいプラザ」、安心安全のまちづくりの取組など、様々な活動が地域の皆様の手によって展開されています。私も、その地域の活動の輪に加わらせていただき、「醍醐に住んでいてよかった」「醍醐に住み続けたい」と実感していただけるよう、地域コミュニティの更なる活性化や地域を挙げての子育て支援、健康長寿のまちづくりなどに精一杯取り組んでまいります。どうかご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。